ニチアス株式会社
2021 年 4 月 1 日制定
2024 年 4 月 1 日改定

ニチアスグループカーボンニュートラル宣言

ニチアスグループは、地球温暖化の原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス（以下 GHG：Greenhouse Gas）の発生、排出を削減することは企業の社会的責任であると認識しております。また、そのための取り組みを積極的に進めることが、サステナビリティ経営に寄与し、企業の持続的成長を実現するものと考えます。これらを踏まえ、「ニチアスグループは全事業場が排出する二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量を 2050 年までに実質ゼロ（カーボンニュートラル）とする」ことを、2021 年 4 月 に宣言いたしました。

この宣言を確実に達成するために、2050 年に向けたマイルストーンとして、当初 2030 年度 GHG 排出量 2019 年度比 30％削減を目標に活動してまいりましたが、2024 年度末に前倒し達成の見込みとなりました。そこで、新たにパリ協定が定める 1.5 度目標にチャレンジすべく、排出削減目標を以下のように設定いたします。

【排出削減目標】

（2030 年のマイルストーン）

①自社の直接排出量(Scope1,2)　2021 年を基準年度とし、2030 年までに GHG 排出量を 42%削減する。
（2030 年　目標排出量＝14.8 万 t-CO2eq/年）

②サプライチェーン排出量(Scope3)　2021 年を基準年度とし、2030 年までに GHG 排出量を 25%削減する。
（Scope3 排出量のうち、カテゴリー1,3,11）

（重点施策）

＜脱炭素につながるものづくりへの転換＞
- 既存製品製造時の GHG 排出量を低減する製法への転換
- 低炭素で製造できる製品の開発、移行

＜グループ全事業場での省エネルギーのさらなる推進＞
- 自社省エネ技術、省エネ製品の活用によるエネルギー効率の向上
- 製造事業場、オフィスでの日々のエネルギーの徹底

＜太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの積極的利用＞
- 創エネ、蓄エネ設備の積極的な導入
- 外部再生可能エネルギーの導入

＜当社製品の省エネルギー化の推進＞
- 省エネルギー性能の向上に寄与する製品の開発・拡販

ニチアス株式会社　代表取締役社長

亀津 克己

（亀津　克己）